

令和4年度第2回

## 平塚市文化財保護委員会 会議次第

日時：令和4年11月30日（水）

午前10時から

場所：平塚市役所本館7階720会議室

平塚市文化財保護委員会委員委嘱式

平塚市文化財保護委員会 会議

あいさつ

### 1 報告事項

平塚市内文化財の調査について（資料1）【公開】

### 2 審議事項

令和4年度の文化財指定等について（資料2）【非公開】

### 3 その他【公開】

以上

公 開

平塚市文化財保護委員会 資料 1

令和 4 年度第 2 回文化財保護委員会

令和 4 ( 2 0 2 2 ) 年 1 1 月 3 0 日

平塚市役所本館 7 階 7 2 0 会議室

## 絵画調査報告

### 調査日時

令和4年（2022年）10月13日（木）10:00～12:00

### 調査の場所

平塚市上吉沢 個人宅

### 調査内容

- (1) 伝・霧降の滝図（縦49.6cm、横57.7cm、紙本着色）
- (2) 涅槃図（縦96.8cm、横56.4cm、紙本・墨摺彩色）

### 調査経緯

所有者より、平成27年に調査をしている「伝・霧降の滝図」と、新たに見つかった掛け軸一幅について、将来的な博物館への寄託の可能性について相談があり、再調査・調査を行うこととなった。

### 調査担当者

吉田英里子（平塚市文化財保護委員）  
（平塚市教育委員会社会教育課中嶋課長代理・五十嵐主査・柳川主事が随行）

### 調査結果

#### (1) 伝・霧降の滝図

「伝・霧降の滝図」は、左手に3段の滝と、その滝壺で水垢離をする多くの人々が描かれる。右手には、上部に不動明王坐像と、その手前に拝殿らしき建物があり、それを拝む人々と、そこに向かって山道を登る老若男女が描かれ、中には滝壺の水垢離を覗き込む子どもの姿も見える。

全体の印象は、名所絵図的な作品に近い。画面左下に「江一筆」の画号と瓢箪形の落款が押されるが、作者「江一」の詳細は不明である。制作時期は、江戸時代後期と推定される。軸裏の貼紙に「江一筆 キリフリ画」とあり、吉沢に所在する「霧降の滝図」とされるが、滝の規模や内容から、大山信仰に関わる図の可能性も考えられる。

不動明王像は、身色は青、頭部周辺は白抜きとし、火炎光背は朱で着色されている。画面の中で、不動明王の朱が最も濃く、不動明王の存在を強調する意図が感じられる。

全体に用いられる色数は少なく、赤・青・緑の三色が、濃淡を変えて用いられている。波や岩の表現から、専門的な技術を習得した作者の手によるものと考えられる。

## (2) 涅槃図

「涅槃図」は、墨摺りで、補足的に彩色されている。版画で製作されていることから、複数刷られた内の一幅とみられる。裏書には「涅槃図」とある。

典型的な涅槃図の構図で、中央に涅槃に入る釈迦と、その周囲に弟子が配置され、下方には多種多様な動物達が描かれている。制作時期は江戸時代後半と推定される。個々の像には名前が付されており、図像考証を行う上での資料的な価値が認められる。

全体に剥落が目立ち、劣化が激しい。

以 上